



歴史とともに歩んできた並木道

## 氷川参道(大宮区)

### 美しいケヤキ並木の姿をそのままに

風格のあるケヤキ並木が一直線に続く氷川参道。昭和初期には鬱蒼としたスギ並木でしたが、環境の変化や戦時中の燃料としての伐採などにより、ケヤキに変わったといわれています。また戦後には、大宮駅前の闇市の移転によって店舗や仮住まいが建ち並びましたが、この地帯は現在「平成ひろば」として整備され、御影石が敷き詰められた緑の空間をのんびりと散策したり、ベンチでひと息入れたりできる憩いの場となっています。

一見すると美しいこのケヤキ並木、実はその樹勢は年々弱まっているのです。主な原因は、通過する車の排気ガスや振動、歩行者による根元の踏み固めなど。ケヤキにとってこの参道は基本的には狭苦しい空間であり、計画的な管理や対策が必要です。安全に歩行するための歩車分離の整備や樹木調査、低木の植栽などもその一環で、美しい景観をこれからも保全していくために、神社や行政、市民による協力と取り組みが続いています。

氷川参道が新緑でまぶしく彩られる季節。気ままにカフェや手づくりの店などをめぐりながら歩けば、あなたもきっとその魅力に気づくはず!



### 「korekara」編集後記

- ◆東日本大震災から1年。今年度は「災害に強いまちづくり」を大きなテーマとし、この号で3回目の発刊です。これからもタイムリーなまちづくりの情報をお届けします。(島崎)
- ◆今回の表紙、いかがでしたか? ほんの些細な色合いや配置など、紆余曲折を繰り返してこの構図にいたりしました。こだわることの楽しさを、今しみじみと噛みしめています。(堀田)
- ◆日常生活における自分の視点がなんとなく変わってきました。日々変化するまちを見るのがおもしろい! 「知れば知るほど好きになるのがまちづくり」と実感中です。(後藤)

### 読者モニター募集中!

「korekara」では、アンケートや誌面作成などにご協力いただく「読者モニター」を募集しています。ご希望の方は、「モニター登録希望」と明記のうえ、第13号の感想(200字以上)に、住所・氏名・年齢・電話番号を添えて、5月31日までに下記であて先までお送りください。モニターの方には、年間の活動の謝礼として、1,000円分の図書カードを差し上げます。

- あて先:〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 都市総務課あて  
TEL:829-1394 FAX:829-1979  
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



さいたま市 korekara

検索